

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスピーす			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日		～	2025年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2025年11月4日		～	2025年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門プログラムや運動プログラムなど、独自のプログラムを取り入れて、児童個々の特徴や課題に応じた支援を実施している。	1日2回（始業時と終業時）実施しているミーティングで児童の様子やプログラム内容の振り返りを行い、新たにできた事や課題を職員間で共有している。	支援計画に基づいた経過記録を充実させ、児童個々の特徴をより把握し、長期的な目標と短期的な課題をより明確にして支援の充実を図る。
2	1日の予定表や送迎での乗車表、プログラム参加日のカレンダーなど、児童達が自分自身で見通しを立てやすいように視覚的な支援を取り入れている。	児童が来所した際に1日の流れを表を使って説明するようにしている。また、急な予定変更を苦手としている児童に対しては、前もって変更の可能性があることも同時に伝えて、スムーズな場面の切り替えができるように工夫を施している。	職員間で児童の特徴を共有し、余裕を持った予定を計画すること。 予定を把握して時間を意識しながら行動することで、集団活動の意義を学習するきっかけになるよう繋げていく。
3	避難訓練や感染症対策など、定期的に訓練や研修を実施して非常時に備えている。	年間で訓練や研修のスケジュールを立てて実施している。 児童が参加する訓練を実施した際には、職員間で必ず振り返りを行い、最善の方法を検証している。 保護者には訓練の様子をお便りにして配布し、実施内容を共有している。	外出プログラムの中に防災施設への訪問や見学を取り入れ、体験的な学習の場を増やす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や保護者（家庭）との交流機会が少ない。	保護者とはモニタリングや送迎の際にやり取りできる機会はあるが、その他で交流できる機会が少ない。 地域交流という部分では、そういった行事やイベントに参加できていない。	日頃の療育現場や児童が活動する様子を知っていただく機会を設ける。 地域の方々や保護者・児童の兄弟達と一緒に参加できるような行事を計画したり、イベントに参加したりする。
2	クールダウン等に使うスペースが狭い。 仕切りを作って場所は確保しているが、身体の高い児童も増えてきて、以前に比べて場所が狭く感じるようになった。	以前は利用児童の特徴を考慮した上で、十分なスペースと考えられていた。 今年度に入って身体の成長が著しい児童が多く、それに伴ってこれまでの広さでは狭く感じるようになった。	備品整理を含めた環境整備を行い、スペース拡大に努める。
3			